

第2回「ことばと文化：公開セミナー」

—世界の言語と文化はどうなっているのか?—

現代語・現代文化学系は、世界の言語と文化についてさまざまな角度から研究している教員の組織です。個人研究はもとより、グループ研究も活発に行われています。大学院での研究者養成にも力を入れています。

昨年度に引き続き、「世界の言語と文化はどうなっているのか?」というテーマで、公開セミナーを開催しました。言語や文化研究の最新動向について、平明に解説し、数多くの方に参加いただきました。

次の表は、案内に掲げた人と題です。

期 日	担当者	タイトル
9月13日	藤原保明（教授）	英語の発音上達法
9月20日	黒田 享（助教授）	ムーミントロールのことばと文化 — Svenskfinland へのいざない
9月27日	石塚茂清（教授）	中世の叙事詩と絵画への旅 — 「ニーベルンゲンの歌」と平家物語
10月4日	青柳悦子（助教授）	チュニジアの多言語・多文化状況
10月25日	白山利信（講師）	ロシアと日本 — ことば・社会・教育の諸相
11月1日	嶺 隆（教授）	メディア規制の今

本号では、以下発表要旨を掲載しました。要旨をより充実させ研究ノートとして本誌にまとめた発表もあれば、学内の別な紀要に投稿した発表もあります。

（編集委員）